そらぐみだより



10月は運動会にご参加いただき、ありがとうございました。子どもたちは少し緊張した様子でしたが、たくさんのお客さんに見守られながら、自分なりに頑張ろうとする姿や友達と協力して取り組む姿など、子どもたち一人一人が一生懸命に取り組んだ運動会でした。これまで積み重ねてきたことや成長したことをいろいろな遊びにつなげていきます。

運動会の絵をかいたよ

運動会の振り返りでは、「パラバルーンの『風船』がめっちゃ高く上がって嬉しかった」「緊張したけど鉄棒頑張ったよ」と頑張ったことや嬉しかったことなど、たくさん話していました。中には「おじいちゃんやおばあちゃんが応援してくれて嬉しかった」と応援に来てくれたことを嬉しそうに話している子どももいました。

その後、運動会のことを「絵の具でかきたい」という声が聞かれ、さっそく絵の具を用意しました。いつもの画用紙よりも大きな紙にかくことを伝えると、「これにかいて良いの？」「大きいね」と大喜びでした。何をかこうか悩みながらかいたり、「竹馬持つときってこんな手かな？」と実際に体を動かしながらかいたりする子どももいました。紙を縦長に使い、大胆な筆遣いで大きくかいたり、友達一人一人を丁寧にかいたり、個性豊かな作品がたくさんできました。どの絵からも運動会が楽しかったこと、最後まで頑張ったことが伝わってきました。







一緒にパラバルーンとフラッグをしたよ！

ばら組の子どもたちが「一緒にパラバルーンをやってみたい」と言ってくれたので、遊戯室でパラバルーンをしました。「こうやって持つんだよ」「腕はね、伸ばすんだよ」とばら組の友達に優しく丁寧に教えていました。『風船』をするときには、「1，2，3，4、5，6，上げて」とそら組で声を揃えて数えたので、初めて一緒に遊んだとは思えないくらい大きく膨らみ、ばら組もそら組も大喜びでした。

フラッグ遊びでは、「ここで手を上げて」「くるくる回るんだよ」と手本を見せたり、手を添えて一緒に踊ったり、一人一人違った関わり方をしていました。最後は音楽に合わせて踊り、「フラッグ楽しかった」「またやりたい」とばら組が言ってくれて、とても嬉しい気持ちになったそら組でした。

こあら組の友達ともパラバルーンをしました。吹き飛ばされないようにゆっくりパラバルーンを引っ張ったり、『山』でパラバルーンの中に入ったときはバルーンが落ちないようにしっかり引っ張って支えたりしていました。

異年齢の交流を通して、優しく教えたり、友達のことを気遣いながら取り組んだりすることを学び、また1つ成長したそら組でした。







芋ほりごっこをしたよ

雨が降り、芋ほり遠足が延期になってしまったため、そら組で芋ほりごっこをしました。「芋ほりの特訓だ」と言って、新聞紙でお芋をつくったり、ツルをつくって長くつなげたり、子どもたちがサツマイモをイメージしながら思い思いにつくっていました。「お芋掘るなら、土もいるんじゃない？」と言う友達の声を聞いて、新聞をびりびり破いて土をつくり、ブルーシートの上に畑をつくりました。そして3チームに分かれて芋ほり競争をし、3チーム仲良く引き分けになりました。最後は、新聞紙を紫色の袋に入れて、大きなサツマイモをつくりました。芋ほりのイメージをもちながら楽しむことができました。



